

事業名：協働を知ってもらう啓発事業

市民生活課参事（市民協働）

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	A 多様な主体が協働するまちづくり				
				プログラム	① 協働によるまちづくり				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
小学4年生・中学2年生及びその保護者等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
自治基本条例に掲げる「協働」の意識啓発を目的に、身近な具体例などを取り上げることにより、小・中学生にも理解されやすい内容とした、リーフレット等の配布や出前講座を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
「江別市自治基本条例」の理念を実現するために重要な「協働」の意識が、将来のまちづくりを担う子どもたちに浸透している。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	小学4・6年生（H26・27）/小学4年生・中学2年生（H28～）	人	2,073	1,960	2,063	1,976
対象指標 2						
活動指標 1	リーフレット等作成種類	件	1	0	1	0
活動指標 2	出前講座回数	回	74	67	36	62
成果指標 1	啓発を受けた小学生	人	2,073	1,960	1,006	920
成果指標 2	啓発を受けた中学生（H28～）	人	0	0	1,057	1,056
事業費（A）		千円	1,149	449	1,020	714
正職員人件費（B）		千円	2,356	2,329	2,295	3,852
総事業費（A+B）		千円	3,505	2,778	3,315	4,566

29年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット（クリアファイル）等の配布 出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット（クリアファイル）等の印刷経費 225千円 出前講座委託料 489千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性	平成28年度から中学生を対象に加えているが、事業効果を更に高めるため、平成29年度からは、新たに中学2年生を対象とした出前講座を実施する。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：市民協働推進事業

市民生活課参事（市民協働）

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	A 多様な主体が協働するまちづくり				
				プログラム	② 協働を担う人づくり				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・市民活動団体（ボランティア・NPO） 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<p>1. 協働のまちづくり事例を普及するため、「協働のまちづくり活動支援事業補助金交付要綱」に基づき、協働のまちづくり活動支援事業として、地域の公共的な課題の解決に向けて取り組む事業を行う団体等に対し、事業費の2/3以内、ただし申請者に企画から実施まで関わる自治会・他の市民活動団体が含まれる場合は9/10以内（上限15万円）を補助する。</p> <p>2. 市民活動に関する講座やネットワーク化に向けた事業等を行う。</p> <p>3. 市民協働の意識を広めるための啓発を行う。</p> <p>4. 市民活動の活性化を図るため、「協働のまちづくり活動支援事業補助金交付要綱」に基づき、市民活動促進事業として、市民活動の広がりや協働のまちづくりの推進に寄与する事業を行う団体等に対して、その事業に要する経費の1/2以内を補助する。</p>									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<p>1. 市民協働への理解と認識が深まり、参画意欲が高まる。</p> <p>2. 市民活動の活性化やネットワーク化により、市民や地域の多様なニーズへの対応や課題解決が図られる。</p>									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250
対象指標 2	市民活動団体（ボランティア・NPO）数	団体	178	181	170	175
活動指標 1	補助金額	千円	1,492	1,478	1,500	1,500
活動指標 2	市民協働推進事業で実施した協働事業数	事業	11	10	10	10
成果指標 1	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	人	756	812	900	900
成果指標 2	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加団体数	団体	42	72	30	50
事業費 (A)		千円	3,379	3,147	3,254	3,203
正職員人件費 (B)		千円	6,282	6,211	6,121	6,548
総事業費 (A+B)		千円	9,661	9,358	9,375	9,751

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体等が実施する事業（協働のまちづくり活動支援事業・市民活動促進事業）に対し、事業費の一部を補助。 ・協働のまちづくり活動支援事業の公開選考会・報告会を開催。 ・市民活動活性化のためのセミナー・ワークショップを実施。 ・市民活動団体版出前講座事業を実施。 ・市民活動啓発情報紙を作成・配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のまちづくり活動支援事業への補助金 600千円 ・市民活動促進事業への補助金 900千円 ・協働のまちづくり活動支援事業公開選考会・報告会開催経費 596千円 ・セミナー・ワークショップ開催経費 212千円 ・市民活動団体版出前講座事業 161千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：自治会活動等支援事業

市民生活課 市民活動係

政策	08 協働			戦略	1 ともに作る協働のまちづくり		
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	A 多様な主体が協働するまちづくり		
				プログラム	② 協働を担う人づくり		
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果							
対象（誰、何に対して事業を行うのか）							
市民、自治会、市民活動団体							
手段（事務事業の内容、やり方）							
<ul style="list-style-type: none"> ・えべつ地域活動運営セミナーを実施する。 ・自治会の女性役員と自治会連絡協議会役員との意見交換会を実施する。 							
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							
地域活動に関するセミナーや意見交換会を実施することにより、市民の地域活動に対する関心を高める。							

指標・事業費の推移							
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算	
対象指標 1	市民	人	120,335	119,587	119,587	119,250	
対象指標 2	自治会数	自治会	162	162	160	160	
活動指標 1	セミナー開催件数	件	1	1	2	1	
活動指標 2							
成果指標 1	セミナー参加者数	人	30	23	60	30	
成果指標 2							
事業費 (A)		千円	490	155	142	129	
正職員人件費 (B)		千円	1,571	1,553	1,530	1,541	
総事業費 (A+B)		千円	2,061	1,708	1,672	1,670	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・えべつ地域活動運営セミナーの実施 ・自治会の女性役員と自治会連絡協議会役員との意見交換会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・えべつ地域活動運営セミナーに係る経費 54千円 ・意見交換会に係る経費 75千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	自治会活動の担い手発掘と育成に向けて、自治会の女性役員と自治会連絡協議会役員との意見交換を行う。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持				○	
見直し					
新規					
休止					
廃止 その他					

事業名：大学版出前講座支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともに作る協働のまちづくり				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	① 大学の得意分野を活かした地域の活性化				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民・大学									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内4大学の教員が地域で行う出前講座の開催を支援するため、大学と地域、市民、企業等とのコーディネート、事業PRを行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
大学の地域貢献として、知的資源が活用されることで、大学と自治会や企業等、地域との協働が推進される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	出前講座講師登録者数	人	22	64	64	61
対象指標2						
活動指標1	出前講座実施件数	件	0	5	5	5
活動指標2						
成果指標1	出前講座参加者数	人	0	461	100	100
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	0	44	35
正職員人件費(B)		千円	1,963	3,106	3,060	3,081
総事業費(A+B)		千円	1,963	3,106	3,104	3,116

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・出前講座実施のための大学への依頼、日程調整、配付資料の印刷	講座配付資料印刷経費 35千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： 大学連携調査研究助成事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり					
				プログラム	① 大学の得意分野を活かした地域の活性化					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助	

事務事業の目的と成果										
対象（誰、何に対して事業を行うのか）										
市内大学（短期大学部含む）に所属する教員										
手段（事務事業の内容、やり方）										
市内大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。 【根拠要綱】江別市大学連携調査研究事業補助金交付要綱 【補助率及び上限額】補助対象経費の100%を1,000千円を上限に補助										
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
教員が地域に目を向け、江別市の課題解決や地域活性化に資する研究を行うことで、地域の知的資源としての大学がまちづくりに活かされる。										

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内大学所属教員数（短大含む）	人	486	475	475	475
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,475	2,937	3,000	3,000
活動指標 2						
成果指標 1	補助事業本数	件	4	5	4	5
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,485	2,954	3,039	3,039
正職員人件費 (B)		千円	3,927	3,106	3,060	3,081
総事業費 (A+B)		千円	6,412	6,060	6,099	6,120

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内大学の教員が行う江別の課題解決や地域活性化に資する調査研究事業に対し補助金を交付する。 前年度の補助事業について、事業報告会を開催する。 	江別市大学連携調査研究事業補助金 3,000千円 大学連携事業報告会会場使用料 39千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略	1 ともに作る協働のまちづくり				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人財育成の促進				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
高校生以上の市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと江別塾」の開催 ・四大学等開催市民公開講座との連携 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
知的資源を有する市内四大学等と連携し市民の様々な学習要求に応えることにより、まちづくりに参画していくための問題意識と知識を獲得する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	高校生以上の市民	人	106,436	105,175	104,757	104,635
対象指標 2						
活動指標 1	連携団体数	団体	4	4	4	6
活動指標 2						
成果指標 1	えべつ市民カレッジ講座数	講座	105	105	110	110
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	194	336	1,478	1,340
正職員人件費 (B)		千円	3,927	2,717	2,678	2,696
総事業費 (A+B)		千円	4,121	3,053	4,156	4,036

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内四大学と連携を図りながら、各大学を会場とした「ふるさと江別塾」を開催する。 ・ふるさと江別塾に加え、各大学で開催している市民公開講座、市主催講座、社会教育関係団体主催講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置づけ、総合的に市民へ提供する。 ・受講履歴を記録できるカレッジ手帳により、受講単位に応じ称号を授与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと江別塾開催に係る経費 246千円 ・えべつ市民カレッジ周知に係る経費 1,094千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：大学連携学生地域活動支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともに作る協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	③ 学生の力を活かしたまちづくり				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内大学に所属する学生（短期大学部含む）
手段（事務事業の内容、やり方）	市内大学に所属する学生が行う、自主的な取り組みによる地域住民とのふれあいやまちづくりに関する事業に対し、補助金を交付する。 【根拠要綱】江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金交付要綱 【補助率及び上限額】補助対象経費の100%を100千円を上限に補助
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市内大学に通う学生が江別市の一員としての意識を持ち、自主的な活動を通して地域とのつながりを深めることで、地域と大学の協働によるまちづくりが行われる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標 1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	10,711	10,305	10,305	9,991
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	211	291	300	300
活動指標 2						
成果指標 1	補助事業本数	件	5	6	4	6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	241	291	325	300
正職員人件費 (B)		千円	5,890	3,106	3,060	3,081
総事業費 (A+B)		千円	6,131	3,397	3,385	3,381

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	・市内大学に所属する学生が行う、自主的な取り組みによる地域住民とのふれあいやまちづくりに関する事業に対し、補助金を交付する。	・大学連携学生地域活動支援事業補助金 300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
29年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					

事業名： 学生地域定着自治体連携事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略	1 ともにつくる協働のまちづくり				
取組の 基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	B 大学が活躍するまちづくり				
				プログラム	③ 学生の力を活かしたまちづくり				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内に所在する大学又は短大に在学している学生									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市、近隣自治体（芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町）、市内4大学、市内関連団体で組織する『学生地域定着推進広域連携協議会』を中心に市内4大学の学生が参画自治体内でボランティアやインターンシップ等の地域活動プログラムに参加できるよう、マッチングを実施。江別市は事務局兼務を担当。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
大学生が地域の魅力を知り、将来的に地域で就職・定住するきっかけづくりとなることや、地域のボランティア等に参加することで地域課題の解決や実践能力を養い、大学の魅力向上に資することを目的としている。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	26年度実績	27年度実績	28年度予算	29年度予算
対象指標1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	0	0	10,305	9,991
対象指標2	協議会加入自治体数	団体	0	0	8	8
活動指標1	地域活動等実施プログラム数	件	0	0	34	26
活動指標2						
成果指標1	市内の地域活動等に参加した延べ学生数	人	0	0	1,078	500
成果指標2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	3,372
正職員人件費 (B)		千円	0	0	7,651	7,703
総事業費 (A+B)		千円	0	0	7,651	11,075

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
29年度	<ul style="list-style-type: none"> 学生地域定着推進広域連携協議会の運営 学生の地域活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 学生地域定着推進広域連携協議会負担金 3,272千円 <p>※28年度当初予算は、27年度補正予算4,892千円を繰越したため0千円となっている。 【改革方向性（コスト）における比較用の事業費（参考）】 28年度当初予算…4,892千円、28年度総事業費…12,543千円</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
29年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）			
	向上			
	維持	○		
	低下			